

# ひなまつり12

P2

二つ二つの灯が  
集まり築く未来への誓い

— 大中尾棚田火祭り —

目次 CONTENTS

3 STEP UP! JA自己改革

4 白熱! 年金友の会グラウンドゴルフ大会

10 JA職員がんばります!!

令和元年12月号 通巻.174  
長崎西彼農業協同組合



# 一つ一つの灯が 集まり築く未来への誓い

—大中尾棚田火祭り—

日本棚田百選の1つである長崎市神浦下大中尾町の大中尾棚田で11月2日、恒例の火祭りが開催され、6,000個の灯りが来場客を魅了しました。

大中尾棚田保全組合（尾崎正博会長）が棚田の魅力を広めようと2008年から毎年実施しています。点火前からクイズ大会や抽選会、もちまきなど多数のイベントで会場を盛り上げ、近隣住民をはじめ多くの人が来場しました。日が沈むと田の畦に並んだ竹灯籠に順に点火。自然の火ならではの温かい光と揺らめき、そして会場に流れる二胡の演奏による幻想的な雰囲気の中、来場客は全ての火が灯るまで息をのんで見つめました。

恒例の火文字には毎年、先人から受け継いだ棚田を後世に伝えるための思いが綴られます。今年は「守ろう棚田の原風景 2019」というメッセージが中央に浮かび、来場客の注目を集めました。



## 大中尾棚田保全組合とは

貴重な日本の原風景が残る大中尾棚田を守るために地元農家らで組織。田植えや稲刈りなどの農業体験や火祭りをはじめとする各種イベントを通して、人々に棚田の美しさや大切さに直に触れてもらい、自然の良さを感じてもらおう活動をしています。また、ツツジやアジサイなどの景観作物を栽培してより付加価値のある棚田を目指しています。

平成30年度には、全国各地で地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体と個人を表彰する「ふるさとづくり大賞」を受賞しました。

10月31日には尾崎会長（㊦から4番目）をはじめとする会員5人が本店を訪れ、森口組合長（㊦から3番目）に棚田で収穫した新米を贈呈しました。





# STEP UP! JA自己改革

## 就農支援の充実に向けて

### (株)アグリ未来長崎

JA 長崎せいひでは「新しく農業を始めたい」「農業生産の拡大をしたい」と考える人への支援に力を入れています。平成31年1月に子会社「(株)アグリ未来長崎」(西海市西彼町)を設立し、イチゴやキュウリ、スナップエンドウなどの生産に取り組みながら、農業研修生を受け入れています。研修生は実際に現地で働きながら生産知識や技術だけではなく、講習を通して経営の基礎を学ぶことができます。JAは更に県の農地中間管理機構と連携した新規就農時の農地の幹旋と、JAが農家にハウスをリース形式で提供する「ハウスリース事業」を活用して就農をサポートします。

「ハウスリース事業」は研修生以外でも新規でハウス栽培を始めたい農業後継者や、生産拡大を目指す農家も活用することができ、初期投資費用の負担を軽くすることで、農家のやる気を支援します。子会社ではJA管内の遊休農地を集積し、農業がしやすい土地に改良しながら、「ハウスリース事業」を展開しハウス団地を造ることを計画しており、農業生産の拡大に向けた後押しをしています。



「(株)アグリ未来長崎」で学びながら働く研修生

## 農家と連携した肉用牛事業

### (有)大西海ファーム

長崎市三京町の前田博孝さん(58)と淑孝さん(26)は二世代で長崎和牛を生産しています。博孝さんはホルスタインを肥育していた父親の後を継いで40年。牛肉の自由化をきっかけに和牛の生産を始めました。現在は230頭を肥育しています。

前田さん親子は「(有)大西海ファーム」の肉用牛(地域内一貫生産)事業を利用しています。同事業は同社が肥育牛農家から母牛を預かり産まれた子牛を肥育牛農家に引き渡すもので、素牛導入経費が通常の7割となります。



初めて引き渡しを受けた「淑孝」と淑孝さん

前田さんは現在7頭の母牛を委託しており、初の子牛「淑孝」以降、現在までで5頭を受け取りました。素牛価格が高騰している中で「費用が削減できることは農家にとって大きなメリット」としながら「立ち上げたばかりの事業を利用するのは怖かった」と博孝さんは振り返ります。しかし繁殖牛農家で働いていた経験を持つ淑孝さんの意見を聞き利用を決めました。受け取る前の子牛の育成についても同社担当者から小まめな報告を受けて共に見守っています。「群れで育ち人にも慣れていし、病気に強いのがいい。今後も事業を利用して良い牛を生産したい」と話しました。





# 年金友の会グラウンドゴルフ大会

JA 長崎せいひで年金を受給している利用者で組織する「年金友の会」は、会員相互の親睦とふれあい、健康増進、生きがいづくりに向けた活動に取り組んでいます。グラウンドゴルフ大会もその目的に沿って開き、今年で15回目を迎えました。

10月18日、諫早市多良見町の喜々津なごみの里運動公園で開いた今大会には、60代から90代の約220人(36チーム)が出場しました。当日は天候が不良であったものの、参加者らは元気にプレーして日ごろの練習の成果を発揮しました。参加者の1人(70代女性)は「友達に誘われてグラウンドゴルフを始めた。歳を取ってからもこうして大会に出て仲間と勝利を目指せることは、心身ともに活力になっている」と話し、野本徹会長は「勝利を目指すだけでなく、ふれあいの場として存分に活用して仲間との絆を深め、会の充実強化に結び付けてほしい」と話しました。

▽上位入賞チームは以下の通り

| 順位  | 支部 | チーム名         |
|-----|----|--------------|
| 優勝  | 長与 | 長与A          |
| 準優勝 | 西彼 | 上岳グランドゴルフクラブ |
| 3位  | 西海 | 大崎A          |

団体の部では長与支部の長与Aチームが、個人の部では西彼支部の瀬戸崎二郎さんが優勝しました。



入った!



真剣に狙いを定めて……



優勝した長与Aチーム  
おめでとうございます!



最後の1振りも慎重に



雨にも負けずナイスショット!





## 組合員と職員が連携！ 魅力ある店舗・支店づくりへ

### 賑わう直売所を目指して～料理教室を初開催～

直売所「ふれあい市大浦店」の出荷者らが10月24日、旧大浦営業所で料理教室を初めて開きました。直売所の利用者増加を目指すとともに、新鮮野菜をより多くの地域住民に食べてほしいと企画しました。

生産者と消費者が身近で、賑わいのある直売所を目指して生産者と従業員が協力して実施しました。生産者が自らの生産物を使って作る家庭料理を紹介。旬の野菜をたくさん食べてほしいと、今回はショウガとサツマイモ、トウガンを中心に3つ紹介しました。会員自らが採ってきたばかりのものを使い、その他材料も同直売所で買えるものを選びました。

生産者と消費者の交流も目的の1つ。会員は講師となって教えるのではなく、参加者も含めて皆で意見を出し合いながら和気あいあいとした雰囲気の中で料理を作り、最後は出来上がった料理を食べながら親睦を深めました。参加者は「ショウガやサツマイモは自分で作るとワンパターンになりがちだった。生産者の方ならではの独自の組み合わせなどとても参考になり料理の幅が広がった。また参加したい」と喜びました。

消費者7人をはじめ、会員と直売所従業員6人が参加しました。出荷者らで組織する東長崎地区ふれあい市部会大浦支部の古賀義己支部長は「1つの野菜でいろいろな料理ができる。新鮮な野菜を活用し多くの料理を発見してほしい。そしてぜひ直売所の野菜を使ってほしい」と話しました。



生産者に野菜について質問する参加者⑥  
(10月24日、長崎市大浦東町)

### 支店全体のチームワークの向上へ～グラウンドゴルフ大会で交流～



グラウンドゴルフを楽しむ参加者ら  
(10月26日、長崎市宮崎町)

三和支店は10月26日、長崎市宮崎町の川原小学校グラウンドでグラウンドゴルフ大会を開きました。運営委員をはじめ生産部会員、女性部員、役職員ら約80人が参加して親睦を深めました。

組合員組織の活性化を目指して開催。組織毎にチームをつくり大会に臨みました。三和支店の管轄が野母崎地区まで広がってから開催するのは初めてで、組合員同士の情報交換の場となった他、職員にとっては日頃の業務では接する機会が少ない組合員とも親睦を深めることができ、支店全体のチームワーク向上に繋がりました。

## 職員のJA事業への理解促進を目指して

### 役職員が視察研修～(株)アグリ未来長崎を訪問～

JA長崎せいひは10月19日、役職員による視察研修を行いました。北部地区コースと南部地区コースの2つのコースで、所属する支店とは別の地区の支店を巡った他、北部地区コースにおいては今年1月に設立したばかりの(株)アグリ未来長崎を訪問しました。

(株)アグリ未来長崎ではイチゴのハウスを訪れ、JAのハウスリース事業で建てたハウスの中でベンチ栽培されるイチゴを見学しました。



ハウスの中を見学する職員  
(10月19日、西海市西彼町)



## 高品質が自慢の種子ショウガ出荷

生姜部会

生姜部会は秋出し種子ショウガの集荷を控え、10月25日に長崎市古賀町の旧古賀支店で本年産ショウガの出荷協議会と目ぞろえ会を開いた。種子ショウガにおい



病害虫被害などを確認する部会員ら  
(10月25日、長崎市古賀町)

では11月5日から集荷が始まり、階級が適正であるか、病害虫被害がないかなど厳正に検査した後、12日、13日に出荷する。

長崎市古賀地区を中心とした東長崎地区は伝統あるショウガ産地であり、部会では40戸が407.5haの園地で生産する。需要が高く安定して高単価での販売が見込めることから、地区外にも産地が広がりつつある。本年産は植え付け時期は天候に恵まれたが、植え付け後は低温推移や乾燥傾向により発芽遅れとなった。その後は適度な降雨があり順調に生育。9月下旬の台風17号では茎折れの他、沿岸部を中心に塩害被害があり、草勢回復に努めた。園地によっては白星病が多発するなどの影響があったものの、干ばつだった昨年に比べ10ha当たりの平均収量を1.2倍の2.6トと予想。種子ショウガは22トを出荷する計画だ。

協議会には部会員、長崎県、JA 役職員ら約40人が出席。目ぞろえ会では見本を元に病害虫が発生したショウガの様子を確認した。松本重徳部会長は「出荷計画を守って安定した出荷をお願いしたい」と部会員らに呼び掛けた。

ひ  
っ  
つ  
き  
レ  
ポ  
ー  
ト

## いいイチゴの日(11月15日)の出荷に向けて

日吉いちご部会

日吉いちご部会は10月28日、長崎市日吉地区でイチゴの現地検討会を開いた。9月下旬の台風17号の影響で例年の4割の収量になると予想していた一番果は7割まで回復する見込みだ。

順調に回復している圃場

11月15日に始まるイチゴの出荷に向けて今後の管理について確認した。台風上陸後に8割の圃場で発生した塩害被害では、早期に対策講習会を開き回復に向けて取り組んだことが功を奏した。現在では枯れた茎や葉も無く、十分な草勢を確保している。

野口澄廣部会長は「JA全農ながさきやJAの指導のおかげで順調に回復できた。今後は摘花、摘果などの管理を徹底して出荷量を確保していきたい」と話した。



10月2日



10月28日



圃場で葉や茎の様子を確認する部会員ら  
(10月28日、長崎市飯香浦町)



## 地道な努力が実を結ぶ

### 肉豚共励会で中村達志さん金賞

養豚部会の中村達志さんが10月29日、JA全農ながさきが開いた県系統肉豚枝肉共励会で金賞を受賞した。

生産者の生産技術の向上を目指して開催し4回目。県下生産者15人が60頭を出品した。金賞を受賞した中村さんの出品した肉豚は肉色やももの張りが良く、肉付もしっかりしていると評価され、販売単価3,000円で取引された。中村さんは養豚を始めて40年。昨年も同共励会で銀賞を受賞し、安定した生産技術を持つ。中村さんは「特別なことは何もしていない。JAからのアドバイスと情報をよく聞き、当たり前のこと、すべきことをコツコツと積み重ねて来た」と話し、「すぐには結果が出ない。今の結果は長年の積み重ね。地道に続けることが大事」と継続する大切さを語った。

同日諫早市永昌町のAコープレストラン諫早店で開いた褒章授与式には、生産者をはじめ関係者ら約40人が出席した。JA全農ながさきの泉富男副本部長は「丹精込めて生産された立派な枝肉が揃った。来年度も大いに期待したい」と挨拶した。



(左から) (有)大西海ファーム田口場長、山田さん、森口組合長、中村さん、養豚部会太田部会長 (10月29日、諫早市永昌町)

#### ▽受賞者は以下の通り (敬称略)

| 褒章  | 氏名         | J A       |
|-----|------------|-----------|
| 金賞  | 中村 達志      | JA 長崎せいひ  |
| 銀賞  | 山田 文明      | JA 長崎せいひ  |
| 銅賞  | (株)土井農場    | JA ながさき県央 |
| 極上賞 | (有)大西海ファーム | JA 長崎せいひ  |
|     | 東川 健治      | JA ながさき県央 |
|     | 山本 義則      | JA ながさき県央 |

## 手料理で感謝を伝えたい

### 女性部三重支部

女性部三重支部は10月16日、長崎市三重田町の三重田公民館で70歳以上を中心とした高齢者を招待し郷土料理をふるまった。高齢者17人が味わいながら交流を楽しんだ。

活動を始めて約20年。1年に1回実施する。長崎市三重地区を7つのエリアに分けて順に回り、同町で開くのは3回目となる。「これまで苦勞して地域を支えてきてくれたご老人の方々を招いてご馳走しようという思いで始めた」と増村あつ子部長は話す。コンニャクやニンジン、ゴボウ、ジャガイモなど具だくさんの郷土料理「つぼき」をはじめ、彩り豊かな煮しめ、天ぷら、漬け物などが並んだ。デザートも数種類のゼリーや淡雪寒天、旬の温州ミカンを用意。参加者は「こんなにたくさんの料理を私たちのために作ってくれてありがたい。とてもおいしい」と部員らに感謝した。

参加者は老人会や年友会の会に呼び掛けて募った。地域の人が呼び掛け合って普段はJAを利用しない人たちも訪れ繋がりができた。増村部長は「部員の協力があって毎年開催できている。私たちも年を重ねていくけれど、できる限り続けていきたい。そのためにも若い世代を集めることができれば」と活動継続への意気込みを語った。



笑顔で交流しながら食事を楽しむ部員と参加者ら (10月16日、長崎市三重田町)



## 単 位収量 1 位に竹島和之さん いちご部会優良農家表彰

いちご部会は 10 月 11 日に本店で総代会を開き、部会員約 100 人のうち、10 ㎡あたりの収量が多かった上位 3 人を優良農家として表彰した。

▽優良農家は以下の通（敬称略）

| 順位  | 氏名    | 部会     |
|-----|-------|--------|
| 1 位 | 竹島 和之 | ことのうちみ |
| 2 位 | 金原 明善 | 東長崎    |
| 3 位 | 瀬崎 輝美 | 日吉     |



（前列左から）瀬崎さん、竹島和之さんの後継者の寿典さん、金原さん（10月11日、長崎市興善町）

## 早 生ミカン 11 月 1 日から販売スタート

JA 長崎せいひは 11 月 1 日から早生ミカンの販売を開始した。11 月中旬に出荷ピークとなり、3,350 トンを見込む。12 月中旬まで。

10 月下旬より選果が始まった。早生ミカンは極早生ミカンに比べると色味が強く、香りも濃くなっている。早生ミカンの出荷状況を見ながら、12 月からは普通ミカンの販売も開始する予定だ。



小迎みかん選果場にて選果される早生ミカン（10月29日、西海市西彼町）

## 正 しい食品表示を学ぶ 加工品製造者らが研修に参加

長崎市農業振興会は 10 月 28 日から 31 日にかけて、市内各地で食品表示研修会を開き、JA 長崎せいひからも直売所の出荷者や女性部員らが出席した。

正しい食品表示について学びたいという声に応え開いた。研修会では、現在が改正された食品表示基準の経過措置期間であることから、新表示基準に基づいた正しい表示方法について講義した。参加者らは正しい知識を身に付けることで、消費者に安全安心な商品の提供につなげる。



100人以上が出席したJA東長崎支店での研修会（10月28日、長崎市矢上町）

## 目 標は販売金額 11 億円 いちご部会総代会

いちご部会は 10 月 11 日に本店で総代会を開いた。30 年産のイチゴは販売数量、販売金額共に前年を上回る 800 トン、10 億 2,300 万円だった。本年産においては販売金額 11 億円を目指し、29 年度より実施している個別経営分析などを活かした経営改善対策と、スケールメリットを活かした販売、産地の銘柄確立と有利安定販売などに努めていくことで、部会員の農業経営の安定向上に取り組んでいく。



挨拶をする野口澄廣部会長（10月11日、長崎市興善町）



# 家畜の命に感謝して畜魂慰霊祭

## 長崎地区と大西海地区で

JA長崎せいひは家畜への感謝とその供養のために毎年畜魂慰霊祭を開く。今年は長崎地区肥育牛部会が10月10日に長崎市三京町で、大西海地区肥育牛部会や繁殖牛部会、養豚部会、養鶏部会が11月7日に西海市西彼町で開いた。

11月7日の大西海地区の畜魂慰霊祭には、生産者をはじめ、県や市、JAなど関係者ら約60人が参加した。大西海地区では年間に肉用牛9,000頭、肉豚33,000頭、子牛270頭、卵97トンを生産する。慰霊祭では慰霊碑の前で神事を執り行い、順に玉串を捧げて感謝と共に畜産業の更なる発展を祈願した。

森口純一組合長は「生産に関わる者として、多くの命が糧となってくれていることを忘れず、常に家畜の御霊に感謝しながら、愛情をもって家畜に接していかなければならない」と話した。



玉串を捧げる長崎地区肥育牛部会の部会員ら  
(10月10日、長崎市三京町)



玉串を捧げる養豚部会の太田義彦部会長  
(11月7日、西海市西彼町)

# いきいきひろば

11/2

女性部西浦上支部

手作りコンニャクに挑戦



手のひらよりも  
かなり大きい  
コンニャク芋!

色が少し  
違います

小江小浦、柿泊、西浦上、畦別当、女の都の班が合同でコンニャクづくりに挑戦です。3年かけて育った大きなコンニャク芋を、皮を剥いて細かく刻み、水を加えながらミキサーでトロトロにします。

今年はカボス風味のコンニャクに新たにチャレンジしました。



おいしい  
コンニャクが  
できました♪

たっぷり煮込んで完成です!



時間を置いて凝固剤を交ぜ、  
形を整えていきます。







# JA職員

# がんばります!!



## 地域への感謝を込めて —全職員で一斉清掃—

JA 長崎せいひは地域に根差した JA を目指し、11月2日に役職員約420人で一斉清掃を実施しました。

JA 各支店がそれぞれの管轄地域の道路や公園、海岸のゴミ拾い、雑草の除去を行いました。今年で3回目となります。長崎市、西海市、時津町、長与町、諫早市多良見町の広範囲で行いました。

集めたゴミの量は全部で1.36トンになりました。JA 本店の瀬川庄三総務部長は「組合員をはじめとする地域の皆様に感謝の気持ちを伝えたいと実施した。今後も地域に貢献する組織として、地域との絆を一層深めていきたい」と話しました。





## 県大会で JA 長崎せいひ初の快挙！

—琴海支店の山中海帆さんが最優秀賞—

琴海支店の山中海帆さんが、11月6日のスマイルサポーターロールプレイング大会県大会で最優秀賞を受賞しました。

同大会は、ロールプレイングを通じて業務知識と推進話を高めることで、組合員・利用者のニーズに合った保障の提案を目指して開きます。山中さんは11月1日、JA長崎せいひが本店で開いたスマイルサポーターロールプレイング大会でJAの代表に選ばれました。短期共済窓口を担当するスマイルサポーターが、各統括支店から代表して1人ずつ13人が出場した中で、終始しっかりとした笑顔を保ち、明るく分かりやすく説明できていた点が特に大きく評価されました。

山中さんはスマイルサポーターとなって1年1カ月。「課長をはじめとする共済課の人たちが助けてくれたから頑張れた。練習の中で学んだことは、今後の窓口業務でも活かしていきたい」と話しました。



JA長崎せいひ大会に出場した皆さん



笑顔で賞状を受け取る山中さん  
(11月1日、長崎市興善町)

## 農作業体験と労力支援をマッチング！

—ハウスのビニール張りを支援—



ハウスの上に登ってビニールを張る職員  
(10月23日、西海市西彼町)

毎年西彼地区では、職員らが農作業体験を兼ねてイチゴ農家に出向き、ハウスのビニール張りを手伝っています。ビニール張りは高所での作業も多く力も必要な大変な作業です。高齢化や担い手減少による労力不足により、多くの農家が手助けを必要としています。

10月23日、西海市西彼町で生産者と営農指導員を含む職員9人が集まり、ビニールを被せてバンドで固定していきました。職員は農作業の大変さを身をもって体験することができました。





果 樹 (総合)



12月の管理

温州みかん

すでに収穫中ですが、本年産も園・樹によって生育状況が違います。園地を良く観察し適期収穫に努めてください。特に、浮き皮等品質の低下する前に着色状況を見ながら分割採取に努めてください。

又、すでに令和2年産に向けての作業も始まっていますので適期管理に努めてください。

※秋肥未施用の方は基準施肥量を参考にし、早急に施用してください。

◎普通温州

○腐敗防止剤の散布(使用薬剤並びに濃度)

- ・ベンレート(水) 4,000倍
  - (又はトップジンM(水) 2,000倍)
  - ・ベフラン(液) 2,000倍
  - ・ロイヤルシリカ 800倍
  - ・アビオンーE 1,000倍の加用
- } 混  
用

※注意事項

- ・薬剤を混ぜる順番  
アビオンーE → ロイヤルシリカ → ベンレート(水) → ベフラン(液)の順
- ・収穫が長期になる場合、前回散布より累計降雨80mm又は10日経過した時点で腐敗防止剤の再散布を行ってください。(収穫前日まで)

○予措

収穫したばかりの果実は呼吸が盛んで果皮からの水分蒸散量も多くコンテナ内に多くの果実を入れすぎると浮き皮果の発生要因となりますので注意してください。目安として8分目程度に抑えてください。尚、予措程度として3~5%の減量を行い貯蔵に入ってください。

○収穫後の樹勢回復

| 目的   | 使用時期 | 葉面散布剤名     | 濃度     | 回数          |
|------|------|------------|--------|-------------|
| 樹勢回復 | 収穫後~ | 尿素又は果樹用液肥青 | 500倍   | 3回(7~10日間隔) |
|      |      | ケルパック66    | 3,000倍 | 1回          |

○病虫害防除

| 対象病虫害         | 使用薬剤          | 倍数  | その他注意事項               |
|---------------|---------------|-----|-----------------------|
| ハダニ<br>カイガラムシ | マシン油乳剤<br>95% | 40倍 | ハダニ重点防除園はアタックオイル60倍散布 |

◎中晩柑

伊予柑等今月より収穫が始まる品種があります。温州同様丁寧な取扱いを行ってください。

○病虫害防除

| 対象病虫害               | 使用薬剤          | 倍数     | その他注意事項   |
|---------------------|---------------|--------|---|
| へた落ち防止(伊予柑・八朔)      | マデック(EW)      | 3,000倍 | 収穫20~10日前までに散布する  |
| 腐敗防止剤               | ベンレート(水)      | 4,000倍 | 薬剤を混ぜる順番<br>アビオンーE<br>→ロイヤルシリカ<br>→ベンレート(水)<br>→ベフラン(液)<br>の順 |
|                     | ベフラン(液)       | 2,000倍 |   |
|                     | ロイヤルシリカ       | 800倍   |   |
|                     | アビオンーE        | 1,000倍 |   |
| カイガラムシ類<br>ハダニ(収穫後) | マシン油乳剤<br>95% | 40倍    | ハダニ重点防除園はアタックオイル60倍散布   |

露地びわ

本年産の着房率はやや低い状況で生育ステージはバラつきが大きいようです。寒害対策等をしっかり行い生産量が減らないように努めてください。

○果実腐敗対策

毎年果実腐敗の問題が出ておりますが、これら腐敗の原因として灰斑病菌や炭疽病菌などの病原菌が確認されております。開花初期~落弁期の降雨とともに花卉に感染・潜伏し、果実の成熟とともに糖度が上昇、酸含量が低下すると病原菌の増殖に好適な条件となり、腐敗を引き起こすと考えられています。このため果実内部腐敗の発生を軽減するため、開花期~落弁期の防除を徹底しましょう。

※病虫害防除

| 防除時期  | 対象病虫害         | 薬剤と濃度                              | 注意事項             |
|-------|---------------|------------------------------------|------------------|
| 開花始め  | 炭疽病(腐敗防止)     | アミスター10フロアブル 1,000倍                | 花房を重点的に散布してください。 |
|       | ビワサビダニ(たてぼや病) | サンマイト水和剤 3,000倍<br>湿展性展着剤(マクピカ)を加用 |                  |
|       | オオタバコガ        | テルスター水和剤 1,000倍                    | 発生園              |
| 開花盛期~ | 灰色かび病(腐敗防止)   | ベルフート水和剤 1,000倍                    | 開花盛期に散布する。       |
|       | アブラムシ         | アドマイヤー(F) 2,000倍                   |                  |

○寒害対策

- ①寒害を受けやすい園では、摘蕾を軽くし、花数を残し、開花期間を長くすることで生存率を高める。
- ②園内に冷気が停滞しないよう防風樹の下枝を1mほど刈り込み、通気性をよくする。
- ③寒肥の施用など肥培管理により、樹勢を保ち花の充実を図り、耐寒性を高める。

※詳しくは最寄りの支店の営農指導員へお問い合わせください。



## 野菜



## ほうれんそうの栽培

## ①土作り

施肥例 (10a 当たり kg)

| 肥料名     | 基肥    | 追肥 | 備考 |
|---------|-------|----|----|
| 完熟たい肥   | 2,000 |    |    |
| 苦土石灰    | 200   |    |    |
| BB 野菜名人 | 120   |    |    |
| BB48 号  |       | 30 |    |
|         |       | 30 |    |
|         |       | 30 |    |



## ②種まき

株間を、15cm の条まきにする。

1 cm 程度の覆土をし軽く鎮圧する。

気温が下がると生育が停滞する為、種まきと同時にトンネル被覆をする。

※発芽温度 15～20℃

生育温度 15～20℃

(栽培の一例 トンネル+不織布+マルチ)

## ③間引き

本葉 4～5 枚の時に間引きを行う。

## ④追肥

間引き後に少量条間に追肥し中耕する。

## ⑤収穫

収穫については、草丈 20～25cm で収穫。

※秋まきでは 40～60 日間が収穫目安。



## かん水の目安

| 生育期       | 期間 (日間) | かん水回数 | 水量 (mm) |
|-----------|---------|-------|---------|
| 整地 2～3 日前 |         | 1     | 30～50   |
| 種蒔き直後     |         | 1     | 10～20   |
| 出芽まで      | 4～7     | 2     | 5       |
| 本葉 4 枚まで  | 11～12   | 2～4   | 5       |
| 収穫 5 日前まで | 10      | 2～3   | 10      |
| 収穫前 5 日間  | 5       | 0     | 0       |



# ほほえみ配達人



**土屋 晴佳**  
つちや はるか

三重支店共済課

担当 / 長期共済

年齢 / 19歳

好きな食べ物

／その日の気分で

嫌いな食べ物

／ホウレンソウ、チンゲン

サイ、ハクサイ、ピーマン、

激辛のもの

好きなスポーツ

／バスケットボール

性格 / 明るい、マイペース

趣味 / 動画視聴

長崎商業高校を卒業後、「地元で貢献したい」という思いから平成31年4月に入組しました。小学生の頃の友達に誘われてバスケットボール部に所属。中学、高校でも続けました。休日には友達とショッピングに行ったり、最近では子猫とよく遊んだりして過ごしています。現在は共済について一生懸命学んでいるところです。「いつか共済の仕事について完璧に覚えたい」と話し「それは大変なことだと思うけど、長い時間をかけてでも頑張りたい」と今後の抱負を語りました。

## recipe レシピ

### 白身魚のグリルサラダ きのこのバルサミコ掛け

#### ●材料 (2人分)

白身魚 ..... 2切れ  
レンコン (下ゆでして厚切りに) ..... 50g  
パセリ (みじん切り) ..... 適宜  
サニーレタス ..... 1/4把  
パプリカ (赤、黄合わせて) ..... 1/2個  
オリーブ油 ..... 大さじ1  
塩・こしょう ..... 適宜

#### きのこマリネ

シメジ ..... 1パック  
マイタケ ..... 1パック  
ニンニク ..... 1片  
オリーブ油 ..... 大さじ1  
バルサミコ酢 ..... 大さじ1  
しょうゆ ..... 小さじ1  
白ワイン ..... 大さじ1  
塩・こしょう ..... 適宜



#### ●作り方

- ①フライパンにオリーブ油をひき、塩・こしょうした白身魚を皮目から弱火でじっくりと両面焼き上げる。白身魚を取り出す。
- ②きのこマリネを作る。①のフライパンにオリーブ油を足し、つぶしたニンニク、ほぐしたきのこ類、白ワインを入れ、塩・こしょうをして中火で炒め、仕上げにバルサミコ酢としょうゆを回し掛ける。
- ③皿にちぎったサニーレタス、食べやすい大きさに切ったパプリカ、レンコン、グリルした白身魚をのせ、パセリを散らし②を掛けて出来上がり。



茨城県笠間市にある「キッチン職人(ハレジン)」オーナーシェフ  
永井智一 (ながい・ともかず)



# フレッシュミズたんぽぽ会

## 10月20日 上長与公民館祭りに出店しました！

手芸品やAコープマーク品、リンアイジュースなどを販売しました。持ち前の明るさで地域の人たちとの交流を楽しみました。試食にも子どもたちをはじめ多くの方が来店。この活動をきっかけに、更に活動の輪が広がっていきそうです。



部員の皆さんの笑顔が光ります☆



10秒でお米がどれくらいすくえるかに挑戦!



Aコープマーク品を使って調理した肉と漬け物の試食です！ 子どもたちに大人気♪

## 10月26日 フレミズ農園でサツマイモを収穫しました！



白崎純範専務のお手本を見て収穫の仕方を学びます。

力を合わせて  
よいしょ！ よいしょ！



立派なサツマイモ  
発見しました！



サツマイモはどこに  
隠れているかな？

### 理事会報告

令和元年度 第8回定例理事会 10月30日開催

#### ■付議事項

- 第1号議案 内部監査規程一部改正の件 ※可決承認された。
- 第2号議案 「不祥事対応要領」の一部改正に関する件 ※可決承認された。
- 第3号議案 不稼働不動産の売却に関する件 ※決議保留
- 第4号議案 ハウスリース契約条項の変更に関する件 ※可決承認された。

#### ■報告事項

- 1 令和元年9月末事業実績報告について
- 2 令和元年度上半期決算状況について
- 3 (株)協同ライフ長崎上半期決算状況について
- 4 (株)アグリ未来長崎上半期決算状況について
- 5 (有)大西海ファーム上半期決算状況について
- 6 第6回内部監査の結果について
- 7 平成29年度みなし脱退者の出資金（支店仮受金計上額）

#### の処理について

- 8 令和元年度みなし脱退者の確定とその後の手続きについて
- 9 支店別出資金残高（R01.9月末）について
- 10 平成30年度不祥事再発防止策取り組み状況報告（令和元年9月）
- 11 平成31年（令和元年）度コンプライアンスプログラム第2四半期進捗報告
- 12 反社会的勢力排除対応管理先の第2四半期対応状況報告
- 13 「疑わしい取引の届出状況」の報告について（第2四半期）
- 14 第3回 ALM委員会について
- 15 長崎県農林施策に関する要請について
- 16 ペーパーレス会議の日程について
- 17 コンプライアンスの遵守について
- 18 JA長崎せいひ「令和元年度 中部・南部地区合同JA祭」開催について



## 2020年農林業センサスにご協力ください

農林水産省では、令和2年2月1日現在で、「2020年農林業センサス」を実施します。この調査は、我が国の農林業・農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。

「農業経営体調査」は、令和元年12月中旬から調査員が農林業を営まれている皆様を訪問して、調査票に農林業の経営状況などをご記入いただく調査です。

「農山村地域調査」は、令和元年12月上旬から農林水産省が委託した民間事業者から郵送により調査票を地域の精通者の方にお届けし、地域の寄り合いや資源の保全などの地域活動の状況などをご記入いただく調査です。

調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。

また、調査票はオンラインによる回答も可能です。

農林業センサスホームページ URL : <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>

農林業センサスに関するお問合せ先は

(農林業経営体調査について)

- ・お住まいの市役所・役場の統計主管課
- ・長崎県県民生活部統計課 (電話：095-895-2226)

(農山村地域調査について)

- ・農林業センサス 農山村地域調査 事務局  
(株式会社サーベイリサーチセンター内)  
フリーダイヤル：0120-627-456
- ・九州農政局長崎県拠点統計チーム (電話：095-845-6246)



### 俳句

角力灘影濃く月の渡りけり 山名平司郎  
こぼれ零余子ひろふ子規似てありにけり 上野 沙知  
畑にも零余子育ちて愛らしや 高尾ひさの  
秋日和ゆるりゆるりと泳ぐ亀 本田 常子  
参道を行く間に消ゆる秋思かな 植村 京子  
スーパーに並ぶ大根二等分 田川 育枝  
神苑の簾目崩す散紅葉 國生恵美子

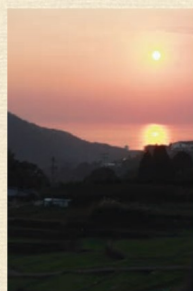
### 短歌

西空を 茜に染めて沈む陽に わが故郷の夕映え思う 住岡 利子  
台風に 起さし停電家族との 話弾めりロウソクの灯に 川本シズエ  
夜も半ば 夢より抜けし吾が側に リンリンと鳴くこおろぎ愛し 高尾ひさの

### 編集後記

コンニャク作りの取材に於て、実際にその過程を見ると手間と時間をかけて作っていることが分かりました。コンニャク芋も大変大きくて重かったです。3年ぐらいかけてじっくりと育てていくと知って驚きました。いただいたコンニャクはとてもおいしかったです。カボス風味も面白いですね。父もコンニャク作りにはまっているようで、お手製のコンニャクをくれました。また作ってくれると嬉しいです。

火祭りが開催された大中尾棚田は山間部にあります。合間から海を見ることが出来ます。点火前に行くところどうと夕陽が沈んでいく様子が見えて、また違った楽しみ方ができるかもしれません。



松尾麻耶

## ひまわり 12

令和元年11月20日発行

発行 / 長崎西彼農業協同組合 総合企画部  
〒850-0032  
長崎市興善町6番7号  
TEL 095-825-5600  
FAX 095-825-5611  
ホームページアドレス  
[www.ja-nagasakiiseihi.or.jp](http://www.ja-nagasakiiseihi.or.jp)

印刷 / (有)正文社印刷所